2. 調査結果

(1) 調査結果

水質階級別調査地点数は、表-2に示すとおり、水質階級がきれいな水と判定された地点は25点(32%)、少しきたない水と判定された地点とあわせると49地点(62%)であった。一方、きたない水及び大変きたない水と判定された地点は、合わせて30地点(38%)であった。

表 - 2) 7k	質階級	引調	杏抽	占数
12 4	/ //\		. // 11 11/11	H. 45	ハマス 女人

水質階級						調査地点数	(%)
き	れ	ſλ	な	水	I	25	31
少	しき	た	ない	水	П	24	30
き	た	な	ſλ	水	Ш	25	31
大	変き	た	ない	水	IV	5	6
生	物	未	確	認	_	2	2
計					1	81	100.0

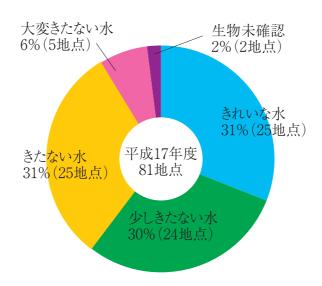


図-1 水質階級別調査地点の割合

平成17年度の調査地点81地点のうち32地点が平成16年度と同じ地点での調査であった。 これらの32地点の水質階級を比較すると、前年度と変わらないところが19地点、よくなったところが7地点、悪くなったところが6地点であった。

表-3 前年度に対する水質階級の比較

(前年度と同一地点で実施された地点の比較) ※生物未確認の地点を除く。

	前年度よりよくなった	前年度と変わらない	前年度より悪くなった	全地点数
調査地点数	7	19	6	32
割合 (%)	22	59	19	100

(2) 指標生物の出現状況

指標生物の出現頻度および調査地点において最も数が多いと報告された指標生物(優 占種)の出現頻度は、表-4のとおりである。

平成17年度に最も多くの地点で出現した指標生物は、ヒル (10地点) であった。

表-4 指標生物の出現頻度及び優占種となった指標生物の出現頻度

水質階級	指標生物	指標生物の 出現頻度(回)	指標生物の 出現割合(%)	階級別出現割合(%)	優占種と なった頻度(回)	優占種に なった割合(%)
	1 アミカ	2	0.5	H-98611 (70)	1	0.6
	2 ウズムシ	11	2.6	_	5	3.1
	3 カワゲラ	19	4.5		4	2.5
	4 サワガニ	23	5.4	-	10	6.3
Ⅰ きれいな水	5 ナガレトビケラ	14	3.3	28.8	3	1.9
	6 ヒラタカゲロウ	25	5.9		15	9.4
	7 ブユ	6	1.4	-	1	1
	8 ヘビトンボ	12	2.8		3	1.9
	9 ヤマトビケラ	10	2.4		5	3.1
	10 イシマキガイ	2	0.5		1	1
	11 オオシマトビケラ	13	3.1		3	1.9
	12 カワニナ	25	5.9	28.8	6	4
	13 ゲンジボタル	3	1.0		0	0
Ⅱ 少しきたない水	きたない水 14 コオニヤンマ	7	1.7		1	0.6
	15 コガタシマトビケラ	23	5.4		13	8.2
	16 スジエビ	26	6.1		15	9
	17 ヒラタドロムシ	16	3.8		5	3.1
	18 ヤマトシジミ	7	1.7		2	1.3
	19 イソコツブムシ	5	1.2		4	2.5
	20 タイコウチ	4	0.9		0	0.0
	21 タニシ	16	3.8		3	1.9
Ⅲ きたない水	22 ニホンドロソコエビ	7	1.7	24.6	5	3.1
	23 ヒル	44	10		23	14.5
	24 ミズカマキリ	2	0.5		0	0
	25 ミズムシ	26	6.1		12	7.5
Ⅳ 大変きたない水	26 アメリカザリガニ	4	0.9		0	0.0
	27 エラミミズ	11	2.6		2	1
	28 サカマキガイ	24	5.7	17.7	6	3.8
	29 セスジユスリカ	27	6.4		8	5.0
	30 チョウバエ	9	2.1		3	2

⁽注)割合については四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。

(3) 河川別調査結果の概要

河川別の調査結果の概要は次のとおりである。また、各調査地における水質階級は、図-2及び表-5のとおりである。

① 伝法川水系

伝法川水系では上流、中流、下流、それぞれ1地点、計3地点で調査が行われ、 上流~下流にかけて"きれいな水"~"きたない水"と判定された。また、この 水系での優占種は上流でウズムシ、カワゲラ、中流でウズムシ、ヤマトシジミ、 下流でカワニナ、ヒルであった。

② 鴨部川

鴨部川では中流1地点で調査が行われ"きたない水"と判定された。優占種はイソコツブムシとミズムシであった。

③ 新川水系

新川水系では新川5地点、春日川4地点、朝倉川1地点、葛谷川2地点の計12地点で調査が行われ、新川上流で"きれいな水"、中流~下流で"きたない水"、春日川、朝倉川 で"少しきたない水"、葛谷川で "きれいな水"~"少しきたない水"と判定された。また、この水系の主な優占種は新川上流でサワガニ、中流でスジエビ、ニホンドロソコエビ、ミズムシ、下流でイソコツブムシ、ニホンドロソコエビであった。また春日川ではスジエビ等、朝倉川ではスジエビとサカマキガイ、葛谷川ではサワガニとスジエビが優占種であった。

④ 御坊川

御坊川では7地点で調査が行われ、上流 で "少しきたない水"、中流~下流で "きたない水"と判定された。御坊川での優占種は上流でカワニナとスジエビ、下流ではヒルとミズムシであった。

⑤ 摺鉢谷川

______ 習鉢谷川では3地点で調査が行われ、"きれいな水"~"きたない水"と判定 された。主な優占種はウズムシ、ミズムシ、セスジユスリカ等であった。

⑥ 香東川水系

香東川水系では、香東川15地点、小出川1地点、内場川1地点、貝股川1地点、 椛川3地点の計21地点で調査が行われ、香東川上流で"きれいな水"~"少しき たない水"、中流"少しきたない水"、下流"きたない水"と判定された。小出 川、内場川、貝股川、椛川は"きれいな水"であった。香東川の主な優占種はヒ ラタカゲロウ、ヤマトビケラ、コガタシマトビケラ等であり、小出川、内場川、 貝股川、椛川ではサワガニ、ヒラタカゲロウ、コガタシマトビケラ等が優占種で あった。

⑦ 本津川

本津川では2地点で調査が行われ、"少しきたない水"~"きたない水"と判定された。また、この川の優占種はコガタシマトビケラ、ヒル等であった。

8 綾川

綾川では、上流2地点、中流4地点の計6地点で調査が行われ、上流"きれいな水"~"少しきたない水"、中流"きれいな水"~"大変きたない水"と判定された。また、この川の主な優占種は上流でサワガニ、カワニナ等、下流でスジエビ、ヒル等であった。

9 土器川

土器川では、上流1地点、中流1地点、下流3地点の計5地点で調査が行われ、上流で"きれいな水"、中流で"少しきたない水"、下流で"少しきたない水"~ "きたない水"と判定された。また、この川の優占種は上流でサワガニ、ナガレトビケラ、中流でオオシマトビケラ、スジエビ、ヒル、下流でヒラタドロムシ、ミズムシ等であった。

⑩ 金倉川

金倉川では、中流1地点、下流2地点の計3地点で調査が行われ、"少しきたない水"と判定された。また、この川の優占種はスジエビ、ヒラタドロムシ等であった。

⑪ 弘田川

弘田川では、4地点で調査が行われ、"少しきたない水"~"きたない水"と 判定された。また、この川の優占種はヒラタドロムシ、ヒル等であった。

② 高瀬川

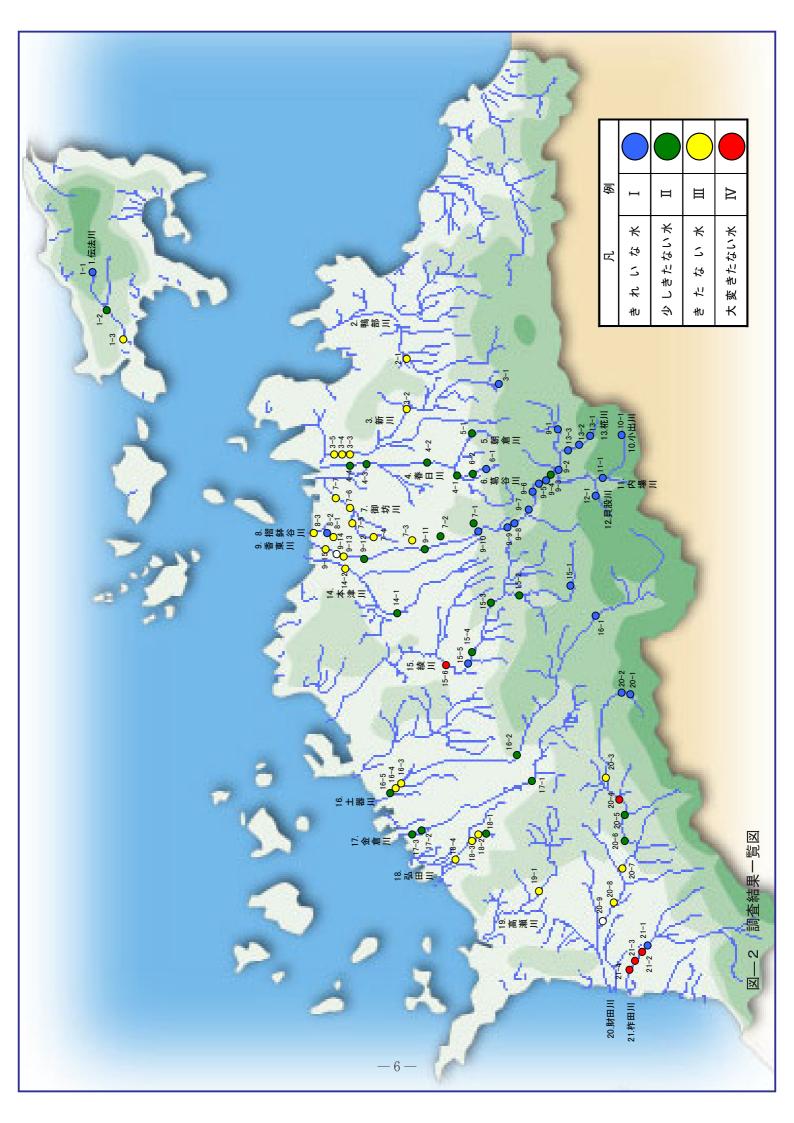
高瀬川では、中流1地点で調査が行われ"きたない水"と判定された。この川の優占種はタニシとヒルであった。

13 財田川

財田川では上流~中流、計9地点で調査が行われ"きれいな水"~"大変きたない水"と判定された。主な優占種はサワガニ、コガタシマトビケラ、ヒル等であった。

14) 柞田川

作田川では中流~下流、計4地点で調査が行われ、"少しきたない水"~"大変きたない水"と判定された。優占種はヒル、セスジユスリカ、チョウバエ等であった。



調査河川と調査地点

表-5 調査結果一覧表

	1.調査河川		2. 調 査 地 点	O -IA FERTILL OT
番号	河川名	番号	地 点 名	3.水質階級
		1 - 1	銚子渓	I
1	伝法川	1 - 2	蓬莱橋	П
		1 - 3	西條橋	Ш
2	鴨部川	2 - 1	片山橋付近	Ш
		3 - 1	三木町花折	I
		3 - 2	三木町平木	Ш
3	新川	3 - 3	新川南橋上流	Ш
		3 - 4	新川南橋下	Ш
		3 - 5	新川南橋下流	Ш
		4 - 1	大亀新橋上流	П
1	 表口III	4 - 2	川島橋南	П
4	春日川	4 - 3	川添橋	П
		4 - 4	元山橋	П
5	朝倉川	5 - 1	城池上流	П
6	葛谷川	6 - 1	葛谷橋上流	I
	石分川 	6 - 2	葛谷橋上	П
		7 - 1	川東上	П
		7 - 2	川東下	П
		7 - 3	一宮団地	Ш
7	御坊川	7 - 4	鹿角	Ш
		7 - 5	鶴尾小前	Ш
		7 - 6	三条駅東	III
		7 - 7	楠上橋下	Ш
		8 - 1	峰山町摺鉢谷	Ш
8	摺鉢谷川	8 - 2	市営峰山墓地付近	I
		8 - 3	新摺鉢谷川橋上流	Ш
		9 - 1	虹ノ滝橋	I
		9 - 2	道の駅	I
		9 - 3	ホタルと文化の里	П
		9 - 4	沈下橋上流	I
		9 - 5	沈下橋	I
	工 士田	9 - 6	御殿場	I
		9 - 7	高畑	I
9	香東川	9 - 8	安原下 (川中島)	I
		9 - 9	音川橋	I
		9 -10	岩崎橋上流	I
		9 -11	河辺橋下流	П
		9 -12	中森大橋下流	П
		9 -13	御殿場浄水場横	Ш
		9 -14	御殿橋付近	-
		9 -15	水潜橋付近	III

	1.調査河川		2. 調 査 地 点	○ → FF UF ÝU
番号	河川名	番号	地 点 名	- 3.水質階級
10	小出川	10- 1	大生口	I
11	内場川	11- 1	一の内橋	I
12	貝股川	12-1	下貝の股	I
		13- 1	粉谷	I
13	椛川	13-2	安原上東	I
		13-3	中筋	I
14	本津川	14- 1	山内橋下	П
14	十年川	14-2	本津川橋上流	III
		15-1	柏原渓谷	I
		15-2	長柄ダム下	Π
15	· 綾川	15-3	山田橋	Π
10		15-4	御山大橋上流	Π
		15- 5	御山大橋下流	I
		15-6	滝宮橋上流	IV
		16- 1	琴南中学校東	I
		16-2	祓川橋	П
16	土器川	16-3	丸亀橋上流	Ш
		16-4	丸亀橋下	III
		16- 5	丸亀橋下流	II
		17- 1	金刀比羅神事場付近	П
17	金倉川	17-2	健康橋	II
		17-3	水門橋下流	П
		18- 1	西部小学校前	II
18	弘田川	18-2	済世橋	III
		18-3	甲山寺前	III
		18-4	山階橋	III
19	高瀬川	19- 1	平池橋	Ш
		20-1	仲南町塩入	I
	H L may vi	20-2	塩入中橋	I
		20-3	黒川	III
00		20-4	財田上	IV
20	財田川	20-5	雉子尾	II
		20-6	森河川敷	II
		20-7	長瀬橋	III
		20-8	西光寺橋	III
		20-9	本大町	_
	柞田川 -	21-1	百々	I
21		21-2	高松自動車道	IV
21		21-3	下野	IV
		21-4	北岡	IV